



Press Information

2015 年 10 月 7 日

各位

NPO 法人 映像産業振興機構

『平成 27 年度 京都映画企画市 -Kyoto Film Pitching-』 一般公開のプレゼンテーション審査を 10 月 28 日（水）に開催！ 書類審査の通過者および今年度の評価者を発表！

NPO 法人映像産業振興機構（略称：VIPO、理事長：松谷孝征、東京都中央区）が、京都府と共同で開催している「京都映画企画市 -Kyoto Film Pitching-」につきまして、今年度の書類通過者（＝公開プレゼンテーション審査の参加者）が決定いたしました。

映画企画の募集については、全国の映像・映画業界の若手クリエイターよりご応募を頂き、8 月 21 日（金）に締め切りました。今月 10 月 28 日（水）には、書類審査を見事通過した 6 企画の代表者による、一般公開のプレゼンテーション審査を行います。優秀賞作品企画（1 企画）には、350 万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与されます。また当日は、審査に先立ち、昨年度優秀賞を受賞された小川岳志監督（映画・ドラマ助監督）製作のパイロット版映像の特別試写を行い、今後の作品企画の展開や活動について語ります。

さらに、書類審査および公開審査を担う評価者には、掛尾良夫氏（城西国際大学メディア学部教授、キネマ旬報社顧問）、犬童一心氏（映画監督・CM ディレクター）、佐藤現氏（東映ビデオ株式会社 企画製作部 プロデューサー）、千葉善紀氏（日活株式会社 チーフプロデューサー）の 4 名が決定しました。監督やプロデューサーといったそれぞれ異なる立場・視点から、多角的な評価が期待されます。

なお、一般公開のプレゼンテーション審査はどなたでも無料でご参加ご観覧いただけますので、プレゼン者に温かい声援をお願いいたします。

【開催概要】

- 開催日時： 平成 27 年 10 月 28 日（水）14:00～17:00 （開場 13:30）
※プレゼンテーションのタイムテーブルは公式 HP をご確認ください。
- 会場： 京都文化博物館 別館ホール（京都市中京区三条高倉）
- 入場料： 無料（事前申込不要）
- 主催： 京都府、特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)
- 共催： KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
- 後援： 経済産業省近畿経済産業局
- 協力： 東映(株)京都撮影所、(株)松竹撮影所、(株)東映京都スタジオ、京都文化博物館
- URL： <http://www.kyotofilmpitching.jp/>

【プレゼンテーション審査 参加企画者・作品企画名】（順不同・敬称略）

- ・藏原これむつ (D★) 鈴木鉄男 (P) 『道』
- ・宝隼也 (D★) 鈴木鉄男 (P) 『逢魔刻の死闘』
- ・高塚利恵 (P★) 細井尊人 (D) 『死闘 凜山』
- ・竹中佐織 (P★) 崔 得龍 (D) 『アフリカのゆめ』
- ・清水孝之 (D) 『大江戸キャノンボール』
- ・宗野賢一 (D) 『魂呼』

※P=プロデューサー、D=監督、★=P・D の組み合わせによる応募の代表者

【評価者】（順不同・敬称略）※10月28日に来場

掛尾 良夫（城西国際大学メディア学部教授、キネマ旬報社顧問）

主な編・著作：「外国映画ビジネスが面白い」「映画プロデューサー求む」「映画プロデューサーの基礎知識 映画ビジネスの入り口から出口まで」、「『ぴあ』の時代」、「日本映画の世界進出」など。『キネマ旬報』編集長、キネマ旬報映画総合研究所所長、映画ビジネスデータブック編集長、NHK サンダンス映画賞・国際審査員などを歴任。現在、城西国際大学メディア学部教授、WOWOW 番組審議委員、和歌山県、田辺弁慶映画祭ディレクターなどを務める。

犬童 一心（映画監督／CM ディレクター）

主な監督作品：『金髪の草原』(09)、『ジョゼと虎と魚たち』(03)、『メゾン・ド・ヒミコ』(05)、『タッチ』(05)、『黄色い涙』(07)、『眉山 びざん』(07)、『グーグーだって猫である』(08) など。『ゼロの焦点』(09) で日本アカデミー賞優秀作品賞・監督賞・脚本賞を受賞、さらに『のぼうの城』(12) で日本アカデミー賞優秀作品賞・監督賞を受賞。近作は、『MIRACLE デビクロくんの恋と魔法』(14)、WOWOW 『連続ドラマW グーグーだって猫である』(14)、WOWOW 『連続ドラマW 夢を与える』(15)など。

佐藤 現（東映ビデオ株式会社 企画製作部 プロデューサー）

主なプロデュース作品：『おろち』（鶴田法男監督）、『ノン子 36 歳（家事手伝い）』（熊切和嘉監督）、『僕たちは世界を変えることができない。』（深作健太監督）、『ふがいない僕は空を見た』（タナダユキ監督）、『ばしゃ馬さんとビッグマウス』（吉田恵輔監督）、『花宵道中』（豊島圭介監督）、『百円の恋』（武正晴監督）、『ロマンス』（タナダユキ監督）など。2015 年『百円の恋』で第 34 回藤本賞・奨励賞を受賞。

千葉 善紀（日活株式会社 チーフプロデューサー）

主なプロデュース作品：『片腕マシニングール』（井口昇監督）、『東京残酷警察』（西村喜廣監督）では過激なバイオレンスシーンが海外で話題となり、その経験を基に海外をメインターゲットとした「SUSHI TYPHOON」レーベルを設立。園監督作品『冷たい熱帯魚』(11) と続く『恋の罪』(12) が海外はもとより、国内でもヒットし、園子温の名を不動のものとした。『凶悪』(13) では国内映画賞を独占し、ピエール瀧、リリー・フランキーの怪演が大きな話題を呼んだ。最新プロデュース作は『極道大戦争』（三池崇史監督）。

◇昨年度開催の様子（公開プレゼンテーション審査）



■本リリースに関するお問い合わせ: NPO 法人 映像産業振興機構 担当: 高田
TEL : 075-746-6216 FAX : 075-746-6217 e-mail: kyoto@vipo.or.jp